

森林火災の影響を受けている地域

Average area of forest annually affected by fire by country



現在、世界全体の森林面積の65%を有する118ヵ国で、毎年1,980万ha(全体の0.7%)の森林が火災によって消失しています(2003-2007年平均)。特に消失面積が大きいのはチャド、オーストラリア、米国、インド、カナダで、その範囲はいずれも年間平均で100万haを超えています。

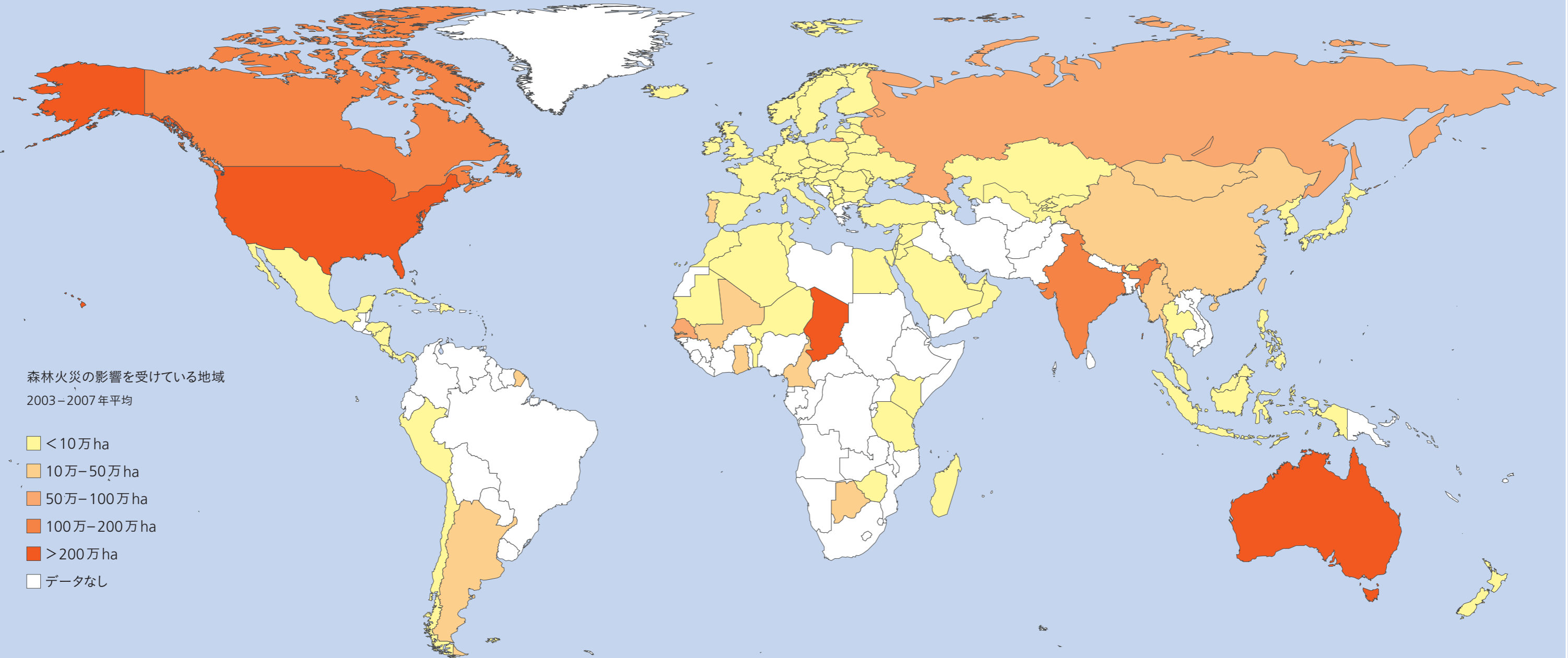
森林火災の原因の多くは人為的なものです。管理が行き届かなかったり、レ

クリエーション・観光に利用されている森林では、特に火災のリスクが高まります。一部の火災には生態系の健全性を維持する働きもありますが、多くは植生に被害を与え、人の居住場所が近接している場所では人的被害ももたらします。

適切なリスク管理には、森林火災の範囲を把握することがきわめて重要ですが、アフリカ諸国を中心に報告データが不足しているのが現状です。FAOは、

国連の他機関を含むさまざまなパートナーと連携して、各国でのリモートセンシングやGISシステムの利用促進、自発的ガイドラインづくりの支援、国際協定のアセスメント、関連情報のアップデート等に努めています。

関連ウェブサイト
FAO : Forests and fire : www.fao.org/forestry/firemanagement



森林火災の影響を受けている地域
2003-2007年平均

- < 10万 ha
- 10万-50万 ha
- 50万-100万 ha
- 100万-200万 ha
- > 200万 ha
- データなし